

令和2年 1 1 月住まいのお手入れ



アルコールどう使い分ける？

モノは「除菌」、手指は「消毒」

*アルコール製品は、「消毒用」と「除菌用」では異なります。

*目的によってアルコール濃度が異なります。



☆消毒

*菌やウイルスを無害化。

*消毒に最も適しているのは、エタノール濃度が76.9～81.4vol%（製品100ミリットルの中にエタノールが76.9～81.4ミリットル含まれている）。

*パッケージに「医薬品」「医薬部外品」と書かれているもの。

*消毒効果を得るには、1回の使用量が3～4ミリットル必要。通常、ポンプを下まで完全に押し切ったときに出る量。

*手指全体にくまなく塗り広げて、乾くまでに15秒間かかれば適切な分量。

*手のひらだけでなく、指先や指の背にも消毒液を塗る。

☆除菌

*菌を減らすこと。

*除菌や掃除用には、消毒用ほど濃度が高くないスプレータイプのエタノール製剤が市販されている。

*通常エタノール濃度が50%ほど。

*用途によって濃度が変わっている。

*アルコールには油を溶かす性質があります。

*スマートフォンや家電は、電源を切ってから除菌すると安全です。

◎掃除・除菌に エタノール濃度 約35～50%

☆直接吹きかけて拭く

除菌用アルコールを吹きかけて、水拭きする

*ドアノブ

*ダイニングテーブル

*冷蔵庫の扉や内部

☆布に吹きかけて拭く

アルコールを吹きかけた柔らかな布で表面を拭いて除菌

*スマートフォン

*テレビのリモコン

*パソコンのキーボード

*電気のスイッチ

☆吹きかけてそのまま乾かす

- *洗濯可能な布製品は、アルコール除菌ができる
- *カーテンの下部は、しっとりするくらいアルコールを吹きかけておくと、結露によるカビの予防になる
- *クッション、スリッパ
- *枕、布製の靴の内側（除菌後は乾かす）

☆アルコールが使えない場所やモノ

- *ニスで塗装した家具
- *ワックスをかけた床
- *革製品など

☆使用時の注意点

- *火気のある場所で使わない
- *熱を発する場所で保管しない
- *目に入らないようにする

(2020年10月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



住まいのお手入れ - 内壁



症状 - クロス（壁紙）が剥がれてきた／隙間がある

☆診断の準備

- *クロスの剥がれは、水回りや湿気の多い場所によく発生します。
- *剥がれ・浮き・隙間のチェックは光の方向によって見え方が違うので、懐中電灯で斜めから光を当てて確認するのが良い方法です。
- *クロスを貼っているノリが古くなると、継ぎ目が浮いたり角が剥がれてくることがあります。
- *剥がれが大きくなり破れることもあるので、気づいたらすぐに手入れをしましょう。
- *剥がれや浮きが異常に多かったりクロスが変な切れ方をしている場合は、下地や構造体に問題があるかもしれません。工務店に見てもらいましょう。

☆対処方法

●クロスが剥がれてきた場合

- ①剥がれたクロスの裏側や壁の下地についた汚れ・ノリの残りかすを、濡れた雑巾できれいにふき取ります。

②水濡れや湿気による剥がれの場合は、クロスの裏側・下地に黒カビが発生していることがあります。カビ取りをしてよく乾かしてください。

③剥がれたクロスが硬くなっている場合は、霧吹きで湿らせてやわらかくします。その後、へらを使って剥がれたクロスの裏に壁クロス用接着剤を奥まで薄く均一に塗ります。

④すぐに貼り付け、内から外に空気を追い出すように専用のローラーを使って密着させます。

⑤はみ出した接着剤を濡れた雑巾ですぐに拭きとります。

⑥クロスにくせがついている場合があるので、接着剤が乾くまでピンで仮留めします。

●クロスに隙間がある場合

①年月の経過によって、多少の縮みが出ます。

②クロスとクロスのつなぎ目の隙間は、年月が経過すると1ミリ程度は出てきます。

③補修には、クロス専用のコーキング（ボンドコーク）を詰めます。

④隙間の両側へ養生のためのテープ（マスキングテープ）を貼ります。はみ出したコーキングをすぐに濡れ雑巾で拭き取ります。ボンドコークは水性なので簡単にふき取れます。

⑤半日ほどで乾きます。

⑥クロスは10~15年が貼り替え時期の目安です。



●クロスがぶかぶか浮いている場合

①クロスのノリが全面に均一についていなかったためと思われます。

②面積が狭い場合は、同じ柄のクロスをその部分より少し大きめに切って重ねてテープで貼って固定し、定規を当てて下の浮いているクロスごと四角に切り取ります。カッターの刃は、切れ味が良いように新しいものを使用します。

③下のぶかぶかしているクロスを取り、上の新しいクロスの裏側に接着剤を塗り貼り付けます。

④ローラーを使って圧着させます。つなぎ目を十分に押しえつけます。

⑤はみ出した接着剤を濡れ雑巾ですぐに拭きとります。

⑥ぶかぶかしている面積が大きい場合は、その部分のクロスを一枚全部貼り替えた方がきれいに仕上がります。

●照明をつけると波打って見える場合

①下地調整の不備によるものかクロスの浮きによるものと思われます。

②下地の処理が悪い場合は、下地ごと取り替える必要があるかもしれません。工務店に相談してください。

（参考：NPO法人家づくり援護会「わが家の診断&対処法」）